

令和6年 第2回定例会

滑川町教育委員会会議録（公開）

令和6年2月21日

午後1時30分 ～ 午後3時50分

滑川町教育委員会

○ 招 集 通 知

滑教第 1944 号により、令和 6 年第 2 回定例教育委員会を次のとおり招集する。

令和 6 年 1 月 2 4 日

記

1. 招集日時 令和 6 年 2 月 2 1 日(水)
午後 1 時 30 分
2. 招集場所 滑川町役場 2 階 中会議室

○ 招 集 委 員

応招委員 (4 名)

- | | |
|------------|----------|
| 1. 岩 崎 千恵子 | 教育長職務代理者 |
| 2. 吉 野 さつき | 委員 |
| 3. 飛 田 聡 保 | 委員 |
| 4. 中 山 達 朗 | 委員 |

不応招委員 (なし)

令和6年 第2回定例教育委員会

令和6年2月21日(水)

議 事 日 程

1. 開 会 宣 言
2. 議事録署名委員の指名
3. 前回会議録の承認
4. 諸般の報告及び日
5. 議 事
 な し
6. 協 議 事 項
7. その他の事項
8. 閉 会 宣 言

出 席 委 員 (4名)

- | | |
|------------|-----|
| 1. 馬 場 敏 男 | 教育長 |
| 2. 吉 野 さつき | 委員 |
| 3. 飛 田 聡 保 | 委員 |
| 4. 中 山 達 朗 | 委員 |

欠 席 委 員 (1名)

- | | |
|------------|----------|
| 1. 岩 崎 千恵子 | 教育長職務代理者 |
|------------|----------|

会議に説明のため出席した人

教育委員会事務局	次長	権田 尚司
教育委員会事務局	教育総務担当	主任 費田 誠

会議に出席した事務局職員

事務局長	澄 川 淳
指導主事	野 口 和 嵩
指導主事	笠 原 祐 介

◎ 開会宣言

○馬場教育長 皆さん、こんにちは。委員各位におかれましては、第2回定例教育委員会に御出席いただきありがとうございます。ただいまの出席委員は3名でございます。定足数に達しておりますので、ただいまより令和6年第2回定例教育委員会を開会します。なお、本日の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により、公開といたします。御異議ございませんでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

○馬場教育長 異議ないものと認めます。次に事務局へお尋ねします。本日の会議について、傍聴の申し入れはございますか。

【事務局より、「傍聴人なし」との報告】

○馬場教育長 傍聴人はいないということです、このまま議事日程について進行いたします。

◎ 議事録署名委員の指名

○馬場教育長 それでは、日程第2「議事録署名委員の指名」ですが、会議の議長において指名します。

議事録署名委員は、吉野 さつき 教育委員 をお願いします。

◎ 前回会議録の承認

○馬場教育長 次に日程第3「前回会議録の承認について」を議題とします。事務局より説明をお願いいたします。

○澄川局長 それでは、資料1を御覧になってください。前回の会議録でございます。いつものようにお時間をつくっていただき、一読して御確認をお願いいたします。

【確認の時間を設定し、委員各位が確認】

○馬場教育長 何か御質問等はございますか。

【中山委員、2ヶ所訂正の指摘が有り】

○馬場教育長 ありがとうございます。それでは、指摘のあった部分を修正させていただいて、前回会議録について御承認いただける方は、挙手をお願いいたします。

【委員全員から、挙手があり】

○馬場教育長 ありがとうございます。それでは、前回の会議録を承認いたします。

◎ 諸般の報告及び日程

○馬場教育長 次に日程第4「諸般の報告及び日程」を行います。最初に、1) 諸般の報告及び連絡事項を行います。それでは、資料2を御覧になってください。本日の定例教育委員会以降の予定について、主なものについて説明いたします。本日は、県立高校の入試ということで学力検査、明日が面接となっています。発熱のために2名出席できない生徒がいたのですが、代替措置により受験できるようになっています。あとは、合格発表を待つのみとなります。3月に入りまして、2日（土）に文化活動発表会を開催いたします。これは、公民館で活動しているサークル等の発表の場です。5日から町議会が始まり、13日までの予定となっています。同日の13日は、一般教職員の内示日であります。15日は中学校の卒業式、19日は幼稚園の卒園式、この日は

小中学校の定例校長会も実施いたします。そして、22 日が小学校 3 校の卒業式で、同じ日が教職員の管理職の内示日となっています。26 日は、小中学校の修了式、30 日に「さくらまつり」を開催する予定です。言い忘れましたが、3 月 1 日が県立高校の入試発表日となっています。そこで、概ね 3 年生の進路が決まるはずです。現状でも、既に 1/3 くらいの生徒の進路は決まっています。

以上、雑駁な説明でしたが主な動静となります。何か御質問等ございましたら、お願いいたします。

【「なし」との声があり】

○馬場教育長 それでは、「なし」ということですので、1) 諸般の報告及び連絡事項を終わりにいたします。

◎ 会議日程の決定

○馬場教育長 続きまして「会議日程の決定について」を議題とします。本日の議案は、「1 件」です。日程 7 その他の事項が終了次第、次回日程を決定後、閉会することといたします。それでは、日程 5 「議事」に進めさせていただきます。

◎ 議 事

○馬場教育長 それでは、日程 5 「議事」に入ります。「議案第 1 号 令和 6 年度当初小・中学校人事異動（管理職）について」を議題といたします。なお、議案第 1 号の審議にあたり、ここから非公開の審議としたいと思います。委員の方々、異議はございませんか。

【「なし」との声あり】

「なし」ということですので、ここから非公開の審議といたします。

【非公開による審議】

○馬場教育長 それでは、「議案第 1 号 令和 6 年度当初小・中学校人事異動（管理職）について」の採決をいたします。本件について、原案どおり承認される方の挙手を求めます。

【全員、挙手】

○馬場教育長 ありがとうございます。出席者全員の承認をいただきました。よって、議案第 1 号は承認されました。それでは、本日の議案については、以上となります。ありがとうございました。

◎ 協議事項

○馬場教育長 それでは、日程 6 「協議事項」に入ります。最初に協議事項 1) 「卒業式における「教育委員会のことば」について」です。事務局より説明をお願いします。

【野口指導主事、資料3により説明】

- 馬場教育長　ただいま、説明が終わりました。委員の皆様に御確認いただき、御承認いただいたものを、最終的な形にして当日準備させていただきます。それでは、御確認をお願いします。

【各委員が確認、吉野委員より、1ヶ所修正の指摘あり】

- 馬場教育長　ありがとうございました。それでは、御指摘いただいた箇所を修正させていただきます。
- 野口指導主事　すみません。ここで、卒業式及び入学式の町、議会、教育委員会からの出席者と御挨拶の役割分担の一覧表を御確認いただきたいと思います。

【各委員、机上の配付資料を確認。飛田委員、卒園式欠席の報告】

- 馬場教育長　了解いたしました。それでは、卒園式については飛田委員が欠席となります。その他は大丈夫ですか。

【委員全員より「はい」の声あり】

- 馬場教育長　それでは、協議事項1)「卒業式における「教育委員会のことば」について」は、以上となります。次に、2)「今後の予定について」です。事務局より説明をお願いします。

【澄川局長、次第により①～④まで説明。前回会議の確認】

- 馬場教育長　説明が終わりました。こちらは、前回の会議から変更はありませんので、日程の確認となります。皆さん、よろしいでしょうか。

【委員全員より「はい」の声あり】

- 馬場教育長　ありがとうございました。それでは、日程6「協議事項」については、以上となります。

◎ その他の事項

- 馬場教育長　それでは、日程7「その他の事項」を行います。1)「滑川町立水泳指導における民間委託事業に係る効果検証報告書について」を事務局より説明をお願いいたします。なお、事務局より贅田説明員による説明を求められていますので、これを許可します。

【贅田説明員より、資料4により説明】

- 馬場教育長　ただいま事務局より説明がありました。御意見、御質問等はいかがでしょうか。
- 飛田委員　1のアンケートの結果で概ね肯定的とありますが、自由記述の意見でどのような意見が出されたのか、反対意見や課題などの指摘があったのか、主なもので結構ですので教えてください。もう一点、費用の縮減の項目ですが、イニシャルコストとランニングコストの算出と、ランニングコストについては、何を根拠に何年間で比較しているのか、教えてください。あと、これは直接関係ないのですが、今年度滑川中学校のプールサイ

ドのシートがはがれ、怪我をしないようにサンダルを履いて授業を行っていましたが、次年度への対応はどうなったのか教えてください。

○費田主任 1点目の自由記述についてですが、検証報告書の13ページからすべての意見ではなく抜粋ではありますが、記載してありますので御参照ください。なお、バスでの移動について不安を感じている保護者の方がいらっしゃるようです。また、実施回数も各学年4回ずつでしたので、もう少し回数ができるとうい意見もありました。実施時期についても、今年度は11月に入ってから授業があったのですが、この時期は寒いので心配ですとの意見がありました。実際は、運動会等の行事との調整もあって12月上旬まで水泳の授業がありました。この時期は寒くタオルでは拭きませんが、ドライヤーをかけるまではできませんので、タオルを巻いてバスで学校へ戻るといった状況でした。来年度の計画については、9月末までにはすべての授業が終わるようにプログラムを組んでいますので、この点については改善させていただく予定です。

次にコスト比較ですが、報告書の18ページから掲載させていただいています。プール建設に係るイニシャルコストとその後のランニングコストとの合算により経費を算出しています。プールの法定耐用年数が30年となりますので、その30年間で係る経費を算出し、そこから年間経費を算定して、委託料の年額と比較しています。その結果、委託料の方が年間経費の縮減が認められるとした結果が出されました。

最後に滑川中学校のプールサイドの件ですが、シートの剥がれにより生徒が足を切るなどの怪我をしたとの報告を受けています。その修繕方法としてははがれた部分のシートの張替えを検討しました。しかし、以前同様の状況となった時に、はがれた部分のみの張替えをして修繕した結果、修繕していない既存部分がはがれるとうい今回の状況となってしまうことから、根本的に修繕するにはプールサイド全面のシートの張替えが必要になることが分かりました。しかし、それでは多額の経費、予算が必要になるため、中学校と相談しまして、ゴム製のロールシートを購入し、それをプールの時期にプールサイド全面に敷いて対応することとしました。

○馬場教育長 授業時数については、国の学習指導要領には具体的に示されていないのですが、埼玉県 of 授業編成要領では10時間程度と示されています。1コマ（1時間）が45分授業です。今回、移動時間のロスを最小限にしようとういこととて、1回の授業を2コマ連続で実施しています。移動、着替え、片付けも含めて、プールでの授業時間が90分以上という仕様で実施していますので、授業時間としては学校で実施していた時とほぼ同時間が確保できています。ここ数年は、気候により（暑すぎて）授業ができなかったことが多かったとて、実際は近年では一番授業ができているのではないかと思っています。他に何かございますか。

○飛田委員 報告書の 29 ページの最後の行ですが、「いずれの類型においても…」といった記述がありますが、費用比較表を見ると「(C) 屋内プールを建設し、共同利用する場合」は、建設した場合の方が安価になるので、「(C) の場合を除き…」とした方が良いのではないかと思います。

○贅田主任 確かに飛田委員のおっしゃるとおり、修正したいと思います。

○馬場教育長 ほかに何かございますか。

【委員全員より「なし」の声あり】

○馬場教育長 ありがとうございます。この報告書の最後に委託事業を継続していくためには、受託事業者の経営状況と水泳指導の状況を把握、確認する必要があるとありますが、この検証委員会に依らずどうやって確認していきますか。

○贅田主任 受託事業者の決算資料を提供してもらい、経営状況の把握に努めたいと思っています。指導状況につきましては、指導現場への視察等により直接確認したいと考えています。

○馬場教育長 アンケート等はもう実施しませんか？児童に対して「楽しかったか」ということと「コーチの指導は良かったか」ということは、継続して検証した方が良いと思います。教育委員会としては、経営状況の把握とアンケートによる検証を継続する、の 2 点を付託するということでしょうか。

【委員全員より「はい」の声あり】

○馬場教育長 はい、ありがとうございます。では、次に 2)「滑川町スクールバス運行業務に関する検証報告書について」を事務局より説明をお願いいたします。なお、事務局より権田説明員による説明を求められていますので、これを許可します。

【権田説明員より、資料 5 により説明】

○馬場教育長 ただいま事務局より説明がありました。御意見、御質問等はいかがでしょうか。

○飛田委員 児童アンケートの「スクールバスを利用していますか」の設問について、回答しているのは乗車対象者全員ですか。もう 1 点は、伊古地区でのスクールバスの運転手さんについてとスクールバス全般の印象についての 2 つの設問とも「あまり良くなかった」が 33%を占めますが、その理由が分かれば教えてください。

○権田次長 1 点目ですが、乗車対象者全員に回答してもらっています。もう 1 点の伊古地区の回答の件ですが、回答者の人数が少ないためこのような数値になっています。

○澄川局長 伊古地区については、回答者が 3 名でした。「あまり良くなかった」とした理由については把握していませんが、3 名中 1 名がそのような回答をしたということです。

- 馬場教育長 統計上の有意差、資料の厳密さからいうと、基礎的な人数がどうあれ、割合で表現してしまうと同等に見られてしまうので、資料の有意差をこの机上（報告書上）に載せておかないと、割合の数値が独り歩きしてしまいます。資料統計上の必要事項をきちんと記載しておかないと、今のようなことが起きてしまうので、この点について記載をお願いします。
- 中山委員 データを出す場合は、有意差検定をしておかないといけませんからね。データが正しい数値、内容を現しているのか、「～である」とか「～であろう」など、データ解説の文章表現も変わってきますからね。33%という割合であってもそれが総数 3 人のデータであれば、その有意差が他のデータとは違ってきますので。まして、この報告書は公開するものですよ。であれば、有意差検定をきちんとしておく必要があります。
- 馬場教育長 ほかに何かございますか。
- 飛田委員 同じく児童アンケートの「スクールバスを利用していますか」の設問で十三塚地区が 43%となっていますが、こんなに低い利用率なのですか。
- 馬場教育長 それは、希望制を導入していますので、そのような数値になっています。
- 飛田委員 先ほどお話しされていた「歩いた方が健康に良い」とか「徒歩通学に学びがある」とか、そういった理由なののでしょうか。
- 澄川局長 そうですね、報告書の利用しない理由にあるような理由が主なものとなっています。
- 馬場教育長 ほかに何かございますか。
- 中山委員 報告書の 9 ページですが、保護者アンケートのスクールバスを利用しない理由の設問に「スクールバスに反対しているから」という人がいるようです。スクールバスに限らず、教育についても、行政についても、どのような取組であっても、このような見方をする方がいるのだなと思いました。
- 飛田委員 報告書の 39 ページですが、バスが大きすぎるという意見があったようですが、これは、乗車人数に対して適正なサイズであるということでしょうか。
- 権田次長 サイズダウンしてしまうと台数が増える場合があります。その場合、運転手、添乗員もそれぞれ雇用するため、経費も掛かります。現状の乗車人数に対して、経費等も勘案して適正なサイズで運行しています。
- 吉野委員 検討委員の原田先生の検証について、もう少し詳しく教えてください。原田先生が、実際にバスに乗ったのですか。
- 澄川局長 八街市のバス事故の検証にも携わっている原田先生ですが、通学における安全、防犯の専門家でいらっしゃいます。先ほど権田次長が説明したとおり、原田先生が開発した「聞き書きマップ」のシステムを利用し

て、検討委員会で行った現地視察及びバスの試乗に参加し、検証していただきました。その際、運行マニュアルに準じた運行がなされているかというプロセス評価の観点をもって検証していただきました。その結果として、運行マニュアルどおりの運行ができています。その運行は安全が守られている。すなわち、マニュアルも運行の安全確保ができるきちんとしたものである。といった検証結果が得られましたとおっしゃっていただきました。

○吉野委員 そのような観点で検証していただいたのですね、ありがとうございます。

○馬場教育長 これは今、局長が説明したとおりで、スクールバスの現地視察は、ただ試乗して「安全でよかった」ではなくて、運行時間、時刻や行程を検証しなくていけないと思います。今回、原田先生がこのような検証していただいたので、それが確認できました。したがって、きちんと報告書に記載しないといけないと思います。スクールバスの安全にとって、運行時刻、運行時間、運行行程は、非常に重要だと思います。今、報告書の巻末の参考資料として記載していますが、報告書内の現地視察の項目に入れ込んだ形で、具体的な数値等を表記して記載すべきだと思います。他に何かございますか。

【委員全員より「なし」の声あり】

○馬場教育長 ありがとうございます。それでは、報告書のまとめの中で「一定期間による検証を行い…」とありますが、これは何を検証しますか。

○権田次長 「適正な運行状況」であるかどうかという観点で、検証を行う予定です。

○馬場教育長 来年度も、今回同様な検証を行うということですか。一定期間で…とありますので、来年度は何をしていくのか教えてください。何をどのくらいの期間で検証していくのですか。

○澄川局長 一定期間は、今回スクールバスの運行契約が5年間となっていますので、そのくらいの期間を目途に検証できればと思っています。

○馬場教育長 来年度は、何もしないのですか。

○澄川局長 来年度については、水泳指導の検証と同様、アンケートなどにより保護者や児童の評価を確認できればと考えています。

○馬場教育長 そのように考えているのであれば、報告書にそのように明記していただきたい。水泳指導の検証の時にも確認したのですが、来年度はどのように検証していくのかということは、私たちにとって大きなことです。どのような検証していくのか、まったく何もしないということはないと思いますが、ただ子供たちにあまり負担を掛けるのもどうかと思いますが、どう考えますか。そこの部分について、もう一度検証委員会で確認していただき、報告書に明記していただきたいと思います。

○吉野委員 これも水泳指導の場合と同様で、5年間の契約期間があり、業者

の存続もその先の受託も保証されていないので、水泳指導の検証と同様、来年度以降については、簡易なアンケートと受託業者の経営状況の確認をしていただければ、教育委員会としても取組の現状把握ができて、ありがたいと思います。

- 馬場教育長 では、水泳指導の検証を確認していただき、スクールバスの検証委員会の委員長等に確認し、今後の検証について報告書に明記していただきたいと思います。教育委員会としては、来年度以降も何らかの検証をしていただいて、運行业者の経営状況も把握していただくといった、今後の検証計画を報告書に記載していただくということを付託事項としたいと思います。委員の皆さん、よろしいでしょうか。

【委員全員より「はい」の声あり】

- 馬場教育長 ありがとうございます。それでは、先ほどの水泳指導の検証と併せて、議会へ御報告したいと思いますのでよろしくお願いいたします。それでは、次に3)「小・中学校近況報告」を事務局より説明をお願いいたします。

【野口指導主事、笠原指導主事より、資料6により説明】

- 馬場教育長 ただいま事務局より説明がありました。何か、御質問、御意見はございますか。

- 飛田委員 ここにはありませんが、来年度からスキー教室がなくなると聞きました。その理由が分かれば教えてください。

- 笠原指導主事 校長先生のスキー教室に対する考え方等ではあるのですが、より教育的効果の高い、有意義な校外活動へと変更することを考えているようです。例えば林間学校とかを検討しているとのこと。また、スキー教室の実施時期が、修学旅行、滑川ドリームプロジェクト（社会体験チャレンジ）と大きな行事が重なります。また年度末ということもあり、学校の対応も苦慮しているようです。こういった点も含めて、行事の見直し、変更となったようです。

- 野口指導主事 スキー教室は、当日現地へ行ってからインストラクターの指導を受けて実施しますので、教職員と生徒との関わりの部分が比較的少ないです。事前準備から教職員と生徒たちで（学校行事を）作り上げていくといった部分が少ないです。これが、林間学校にした場合、事業計画の立案の部分から、準備、当日の活動まで、教職員と生徒の関わりが大きく、教育的効果がより高いものであると考えられます。こういった点から検討しているようです。

- 飛田委員 分かりました。ありがとうございます。

- 馬場教育長 他に何か御質問、御意見等はございますか。

【「なし」の声あり】

- 馬場教育長 ありがとうございました。それでは、3)「小・中学校近況報告

は、以上となります。日程 7 その他の事項については、以上となります。

◎ 次回開催日

○馬場教育長 それでは、次回開催日を議題といたします。事務局から日程の提案をお願いします。

【事務局より、昨年度の日程を参考に提案、委員各位に確認】

○馬場教育長 それでは次回の教育委員会ですが、3月21日（木）時間は、14時00分からとします。場所については、役場庁舎内としたいと思います。それでは、よろしくお願いいたします。

◎ 閉会宣言

○馬場教育長 本会議に付された案件は全て終了しました。ただいまをもちまして閉会としたいと思います。御異議ありませんか。

【「異議なし」との声あり】

○馬場教育長 異議なしと認めます。したがって、本定例教育委員会は、閉会することに決定しました。

◎ 閉会のことば

○馬場教育長 皆さんの御協力によりましてスムーズに議事を進行し終了することができました。感謝を申し上げます。

これをもちまして令和6年第2回定例教育委員会を閉会します。お疲れ様でした。